



再び全国の舞台へ。御船中学校（河田知治校長、407人）ものづくり部の「一心不乱」が、12月6日と7日、長崎県佐世保市東部スポーツ広場体育館で開催された、第16回創造アイデアロボットコンテスト九州地区中学生大会応用部門で3位に輝き、2年ぶりに全国大会への切符を手にした。

同部は11月8日に開催された県大会で、応用部門と授業内部門に出場。応用部門で「一心不乱」が優勝、「右脳」がベスト8に進み、授業内部門でも「御船中ビギナーズ」が3位になり九州大会へは、3チームが出場した。

「一心不乱」が出場する応用部門は、1対1の対戦方式で、競技時間150秒の間に、メインロボットと自動制御で動くビックリドッキリメカを使用し、自陣エリアにあるボールを相手エリアに多く送り込んだチームが勝ちとなるルール。

部長の堀田裕貴君（3年）は「県大会は優勝できたけど、九州大会の3位という結果が悔しい。全国大会では、全国制覇を目指して頑張りたい」と話した。



全国大会に向けロボットの調整を行うメンバー

全国大会は1月24日と25日、東京都江東区の木材会館で開催される。11回目の全国舞台に挑戦する「一心不乱」のメンバーは、4度目の日本一を目指す。

**【御船中学校ものづくり部】**  
部員25人、（3年生4人、2年生9人、1年生12人）。鹿釜良一教諭が指導。平成15年から10年連続で全国大会へ出場し、今大会を含め11回全国大会へ出場する。

**【一心不乱】**  
※（）内は学年。敬称略。  
堀田裕貴（3年）  
松下航也（3年）  
松本尚大（3年）  
村崎 竣（2年）  
佐野亮介（3年）メカニック

## 2年連続9回目の全国優勝。

第22回全国高等学校ロボット競技大会

ロボット競技の甲子園とも呼ばれる、第22回全国高等学校ロボット競技大会が、11月8日と9日、宮城県総合運動公園総合体育館で開催され、都道府県の代表128チームが出場した。

今年で13回連続出場となる御船高校マイコン制御部ロボット班からは2チームが出場。御船A withポチが、2年連続9回目の全国制覇を果たし、御船B withタマも、ベスト8まで進んだ。

御船A withポチのメンバー5人は、競技に出場した松野豊君、福岡諒君の2人の1年生に、修理に備え待機した、甲斐敦士君、井上和也君、宮部翔太君。操縦した松野くんは「全国制覇が目標だったので、達成できてとても嬉しい。今後も3連覇、4連覇と達成できるように頑張っていきたい」と話した。部長の甲斐敦士くん（3年）は「保護者や育友会、まわりの人たちの期待に応えることができ良かった。応援してくれた人たちにも感謝の気持ちでいっぱいです。全国大会が終わって引退するまでに、部品製作の技術やロボット操縦の技術を後輩に伝えて、3連覇



**【御船A withポチ】**  
※（）内は学年と出身中学校。敬称略。  
左写真右から  
宮部翔太（2年・下益城城南中）  
福岡 諒（1年・甲佐中）  
松野 豊（1年・甲佐中）  
甲斐敦士（3年・湖東中）  
井上和也（1年・甲佐中）

ロボット競技の甲子園とも呼ばれる、第22回全国高等学校ロボット競技大会が、11月8日と9日、宮城県総合運動公園総合体育館で開催され、都道府県の代表128チームが出場した。

今年で13回連続出場となる御船高校マイコン制御部ロボット班からは2チームが出場。御船A withポチが、2年連続9回目の全国制覇を果たし、御船B withタマも、ベスト8まで進んだ。

御船A withポチのメンバー5人は、競技に出場した松野豊君、福岡諒君の2人の1年生に、修理に備え待機した、甲斐敦士君、井上和也君、宮部翔太君。操縦した松野くんは「全国制覇が目標だったので、達成できてとても嬉しい。今後も3連覇、4連覇と達成できるように頑張っていきたい」と話した。部長の甲斐敦士くん（3年）は「保護者や育友会、まわりの人たちの期待に応えることができ良かった。応援してくれた人たちにも感謝の気持ちでいっぱいです。全国大会が終わって引退するまでに、部品製作の技術やロボット操縦の技術を後輩に伝えて、3連覇

できるように頑張ってもらいたい」と後輩たちへエールを送った。

**【御船高校マイコン制御部】**  
部員21人（3年生7人、2年生4人、1年生10人）。小松淳教諭、大橋貴幸教諭、中村俊一教諭ら3人の顧問が指導。平成13年度から連続で全国大会に出場し、今大会を含め14回の出場中9回が日本一に輝く。

## 2年ぶり11回目の全国舞台へ

第15回全国中学生創造ものづくり教育フェア  
創造アイデアロボットコンテスト

